

第 56 回 番組審議会議事録

1. 開催日時 令和 4 年 11 月 2 日 午後 3 時から
2. 開催場所 よこてイースト 会議室
3. 委員出席 委員総数 5 名
出席委員数 5 名
欠席委員 0 名

出席委員	岡部 えり子	委員長
	佐々木 隆一	副委員長
	土田 百合子	委員
	辻 正憲	委員
	石川 淳	委員

◎横手コミュニティ FM 放送株式会社

出席者 4 名

高橋 雅博	支援室長
小笠原 豊	放送局長
斎藤 晋平	支援室
細川 正実	営業部／番組審議会事務局

- (1) 11月課題審議 審議番組
山内杜氏組合 百周年記念番組「酒百伝～伝統と継承」
(7月16日 午後1時放送)

(2) その他

4. 審議事項

(1) ①審議番組 「酒百伝～伝統と継承」について

- ・一番印象に残ったのは、伝統の尊重という側面とそれに対する杜氏さんの疑問といますか、時代と共に変わる方法やの改革などについて話していた部分。
- ・今回はお酒造りにスポットが当たっているわけだが、どの企業でも同じようなことをお客さんが抱えながら努力されていると感じた。
- ・内容的には「挑戦」や「改革」などのニュアンスのタイトルでもよかったのでは？
- ・酒蔵の冬場の働き口として定着した歴史や杜氏の意味、杜氏になるための講習会があり、試験があり、そのうえ合格しても推薦がなければ杜氏になることはできない等難しく大変な仕事だと感じた。
- ・コロナ禍に飲むお酒の味も工夫し、生き残りをかけて真剣に向き合い、昔からの伝統を守り、次世代につなげる思いを聴き、お酒に対する印象が変わった。作り手の思いを感じながらお酒を味わい、働いている作業場も見学したいと思った。
- ・米とき唄や酒屋唄など BGM も大変番組と合っていて素晴らしい企画だと感じた。
- ・長期低温貯蔵や「あねこだまし」「えふりこき」、昔の好みと今の好み、酒屋唄が時計代わりなどのエピソードはおもしろかった。
- ・終盤に盛り上がるのは秋田県人特有のパターンに思える。
- ・「とうじ」「とじ」なのかについてわからなかった。
- ・プロ中のプロ同士のお話でもう少しかみ砕いても良かったかもしれない。
- ・全国的にも珍しい「杜氏組合」をテーマに取り上げてくださり感謝したい。大切な伝統産業文化の一つだと思う。
- ・興味深い話、面白い言い伝え、杜氏や酒造りをしている方しか知らないような深い話など盛りだくさんで大変聞きごたえがあった。今後も地域産業、伝統を皆様に伝えるような素晴らしい番組作りを期待している。

《会社側からの回答》

- ・今回は山内杜氏組合の提供番組。杜氏とはなにかというところから変わった部分などについて説明させていただき、そして無くなりつつあるという酒屋唄を披露していただいた。するとボリュームが増えてしまい、時間が足りなくなった。
- ・「とじ」「とうじ」かは、直前につくつかつかないかによる。山内杜氏（とじ）南部杜氏（とじ）など。それ以外は「とうじ」という説もある。

(2) その他番組への意見

- ・十文字神社の祭典なども3年ほど行われていない。忘れられないようにコロナ禍だからこそスポットを当てていただいて番組を作ってもらえればと思う。

- ・パーソナリティが一同に会する番組や、おやじの青春ミュージック、朝市を応援する番組などが聴きたい。
- ・地域の住民からかつて統廃合になった校歌や写真など、形にして残せないかというお問い合わせが寄せられている。むしろこれを FM さんでやったらどうか。

《会社側からの回答》

- ・横手市で今までやらなかった伝統行事などの調査を弊社で行っている。結果次第でそういった番組を制作も可能。金沢八幡宮の掛け歌や、霜月神楽の特番は行ったことがある。
- ・パーソナリティが一同に会する番組は、以前誰がしゃべっているかわからなくなる、またパワーバランスでしゃべる量が変わるので難しい。
- ・校歌に関しては企画書を持っていつている。校歌の収集は行っている。ただ CD の作成はご予算の関係か、お断りされている。しかし保存に関しては限界があるし、手詰まり感はある。

5. 意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページ（URL）への掲載

公表の案内 議事の概要

公表年月日 令和4年11月29日

7. 次回審議番組

「未定」

8. 備考 12月、1月は休会とし、次回は2月に開催予定。